



学長就任

進化する短大へ

鳥取短期大学
学長 松本 典子

今年4月、鳥取短期大学の学長に就任いたしました。私は、昭和55年に本学幼児教育学科（現在の幼児教育保育学科）に着任し、以来幼児の運動指導を専門として関連科目を担当してまいりました。現在も授業を続けています。できる限り直に学生と対しながら、本学の教育のあり様を考え、社会人としての基盤づくりや人材養成に努めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて本学では、今年度はじめて地域の経済、産業、教育などの各界の方々にお集まりいただき有識者会議を開催することにいたしました。これは、地域の人材養成に求められる資質、能力などについてのご意見を伺い、本学の教育改革につなげようとするものです。一方では、本学が受け入れる学生たちの高等学校での学びとの連続性を考え、受験生の能力を多面的に認識するための入学者選考方法の検討に向け、高等学校長の方々と意見交換会を実施しています。



このように本学では、将来に夢を描き、地元社会に貢献しようと本学で学ぶ若者たちが、求められる確かな知識技術を身につけ、力を伸ばし、着実に夢を実現させて活躍することができるよう、各界と連携を深めてまいります。そして、確かな人材を輩出し、従来以上に地域の活性化に貢献できる短大へと進化するよう、教育改革・改善に努めてまいります。

これからの鳥取短期大学にどうぞご期待いただくとともに、今後ともご指導いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

松本学長就任披露の様子（平成28年5月21日 倉吉シティホテルにて）





「高齢者向け生涯学習事業」の展開

鳥取短期大学では、平成28年度より「高齢者向け生涯学習事業」を開催しています。

今年度は、福生東公民館（米子市）と湯梨浜町の高齢者を対象に、学び直しの観点から短期大学の知的資源を活用して、地域の方に学習機会を提供するために公開講座を実施しています。

■福生東公民館 ～健康づくり講座～

回	月/日 (曜)	テ	ー	マ	講 師 (所属学科・専攻)
1	6 / 7 (火)	学内見学 ミニ講演『とりたんの教育』			松本 典子 (学長)
2	9 / 7 (水)	人とつながる読書の楽しみ ～本を生活の中に～			上田 京子 (鳥取短期大学 非常勤講師)
3	10 / 11 (水)	「あそび」で保つ、心と身体の健康			近藤 剛 (幼児教育保育学科 准教授)

■湯梨浜町 ～豊かなシニアライフ～

回	月/日 (曜)	テ	ー	マ	講 師 (所属学科・専攻)
1	6 / 24 (金)	学内見学 ミニ講演『とりたんの教育』			松本 典子 (学長)
2	7 / 27 (水)	調理実習 栄養バランスの取れた高齢者向けの食事			亀崎 幸子 (生活学科食物栄養専攻 教授)
3	9 / 5 (月)	楽しくなる音楽講座 ～明治・大正・昭和の歌をあなたと～			白石 由美子 (幼児教育保育学科 教授)
4	9 / 14 (水)	シニア流スマホ・タブレット使いこなし術			板倉 一枝 (国際文化交流学科 助教)

「地域交流」第1号を発行しました

地域交流センターでは、定期刊行物として『地域交流』（鳥取看護大学・鳥取短期大学地域交流センター年報）を創刊し、この度第1号を発行しました。これまでは、センターの兼任研究員が共同の研究テーマに基づいて執筆した論稿を、研究報告書として編集してきました。その流れを発展させ、装いも新たに年報『地域交流』を両大学が存在する鳥取県や山陰地方はもとより、全国に向けて発信します。第1号は、以下の様な論稿で構成されています。そして、両大学の応募制に改めた「地域研究・活動推進事業助成金」の研究・活動報告、地域交流センターが取組んだ事業や業務報告についても収めています。

- ・『地域交流』発刊にあたり (白石由美子)
- ・地域と共に歩む大学として (山田修平)
- ・地方版総合戦略における高等教育関連施策の位置づけー鳥取県内市町村の総合戦略を例にー (國本真吾)
- ・倉吉市プレミアム付商品券事業の経済効果について
ー消費者アンケートをもとにー (三沢英貴・野津和功)
- ・平成27年度 鳥取看護大学・鳥取短期大学 地域研究・活動推進事業助成金報告 他



発行された「地域交流」第1号
(H28. 3 発行)

熊本地震災害支援募金活動



4月14日から、熊本県・大分県で大地震が断続的に発生し、多くの方が被災されました。何か支援はできないかと考え、学生を中心に災害支援の募金活動を行いました。

4月23日、24日の2日間、鳥取看護大学赤十字学生奉仕団の学生11名が倉吉駅前とパープルタウン前で募金活動を行いました。また、4月24日には倉吉ライオンズクラブの呼びかけで募金活動が行われ、鳥取短期大学からは生活学科食物栄養専攻の学生9名が参加しました。5月9日から14日の1週間、鳥取看護大学・鳥取短期大学学友会執行部の学生を中心に、学内で募金活動を行いました。

募金に協力していただいた方々の想いが被災地の方々に届き、復旧と復興の一助となればと思います。

18歳選挙権について考える

6月12日、東伯郡湯梨浜町にあるハワイアロハホールにおいて、「明るい選挙推進鳥取県女性集会」（鳥取県連合婦人会、鳥取県選挙管理委員会、鳥取県明るい選挙推進協議会が主催）が開催されました。18歳選挙権が適用される7月の参議院選挙を前に、若者に選挙について考えてもらおうと企画されたものです。この中で、「みんなで決める私たちの暮らし～主権者意識をもって一票を行使～」をテーマとしたシンポジウムが行われ、パネリストとして鳥取短期大学国際文化交流学科2年 萩原 秦さんが参加しました。萩原さんは、「政治は難しいものだと思っていたが、この集会に参加して少しでも身近なものとして考えるきっかけになった」と感想を述べていました。



食のみやこフェスティバル



6月25日、26日の2日間、倉吉未来中心横にある大御堂廃寺跡で開催された「中部発！食のみやこフェスティバル」に学生や教職員が出展・出演をしました。

25日は、鳥取短期大学生生活学科食物栄養専攻の学生と教員が、「栄養士のたまごたちが作った愛情たっぷりお菓子♡」と題してカップケーキやクッキーを作って販売し、お昼過ぎには完売するなど、大好評でした。

26日は、鳥取短期大学幼児教育保育学科の学生の「スマイルコンサート」で、ステージいっぱいに元気よくダンスと歌声を披露しました。また、ダンス部によるパワフルな踊りで、会場も華やかになりました。

25・26日の両日は、鳥取看護大学の学生と教員・まめんなかえ師範塾のスタッフが「まちの保健室」のブースを出展し、健康相談や血圧測定・骨密度測定などを行いました。

教員紹介

鳥取看護大学
看護学部 看護学科
たなか びびき
教授 田中 響

- 出身：奈良県
- 専門分野：基礎看護学
- 学位：博士（学校教育学）
- 最終学歴：兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科



鳥取看護大学が開学して1.5年。本学の建学の精神「地域とともに歩む大学」として、開学当初から地域貢献に力を入れてきました。鳥取看護大学方式「まちの保健室」は、大学における地域貢献の柱になりつつあります。「まちの保健室」は、開学と同時に鳥取看護大学の教職員が一丸となって推し進めてきました。そのため、毎月1回、本学で実施している「まちの保健室」は、地域の方々にとって、知的刺激を受け、自分の健康に興味をもち、居がいのある場所になっています。また、この取り組みに倉吉市や鳥取県が、主体的に地域住民が取り組む地域づくりの一つの事業として、応援してくれています。何よりも大学教員をしながら多くの地域住民と直接かかわることの大切さや面白さを感じています。これからも「地域とともに」をキーワードに頑張っていきたいと思っています。

入試広報部 紹介

入試広報部は、教員が併任する部長・副部長を含めて9名で構成されており、鳥取看護大学・鳥取短期大学の入試広報・学生募集を業務としています。18歳人口の減少が続く現状のなか、鳥取県唯一の短期大学、看護単科大学として地域に貢献する人材を育成するという強い使命感を持ち、両大学の相乗効果をはかりながら募集広報活動を展開しています。

入試広報部が行う施策として、主に3つあります。

オープンキャンパスは、鳥取看護大学と鳥取短期大学の同日開催で、3月・6月・7月・8月・9月（9月は短期大学のみ）の5回実施しています。内容は授業体験、キャンパス見学、キャンパスライフ紹介、保護者対象説明会などで、両大学の学生もスタッフとして運営に携わり、高校生や保護者から好評を得ています。

高校訪問は、鳥取県・島根県の全高校、兵庫県北部・岡山県北部の高校、あわせて100校を超える高校を、年間8回にわたって定期的に訪問します。入試広報課の職員や教員が、両大学の教育



オープンキャンパスの様子



進学説明会の様子

方針や教育の現状、学生の勉学状況などを伝え、高校との信頼関係の維持に努めています。

進学説明会は、毎年、春に「地区別進学説明会」を鳥取・倉吉・米子・松江・出雲・豊岡・津山・浜田の各会場で開催し、それぞれの地域の高校の進路指導の先生方に両大学の入試状況・募集状況について説明し質疑応答の場を設定しています。今年は全56校105名の先生方の参加を得ました。

その他、各高校で開催される高校生を対象とした進学説明会や、各地区での進学ガイダンス、高校ごとの大学見学会の受入れなど、直接高校生とふれあい、大学の魅力を伝える活動を大切にしています。



チームワークばっちり! がんばってます!!

地域交流センターをご利用下さい

鳥取看護大学・鳥取短期大学では、個人・団体による大学見学会、講演会講師の依頼、大学の施設利用や教員の専門分野に関するご相談などに随時対応しています。

詳しくは地域交流センター（担当：柴田・中島）までお問い合わせ下さい。

<発行> 鳥取看護大学・鳥取短期大学地域交流センター 〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭854
TEL&FAX: 0858-26-9138 (直通) E-mail: chiiki@ns.cygnus.ac.jp

<印刷> 有限会社 矢積印刷 倉吉市宮川町2-36